

総合ドイツ語 A

Practical German A

薬：K2-17211MY、生命：K2-17211MS

素養科目 2、3 (薬)年／前期 1 単位 選択科目

科目責任者 吉羽 里恵(非常勤講師)、相馬 大樹(非常勤講師)、三枝 桂子(非常勤講師)

授業担当者 A 組：吉羽 里恵(非常勤講師)、B 組：未定、C 組：相馬 大樹(非常勤講師)、S 組：三枝 桂子(非常勤講師)

■ 教育目的 (各クラス共通)

- 1 年次の「入門」と「基礎」で学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、基礎知識の定着を図るための実践練習を積む
- 日常生活のさまざまな場面で使える語彙をふやし、基本文型を用いた会話表現ができる。
- 辞書を活用し、基本文法の知識を応用しながら、平易なドイツ語の文章を理解する力を養う。
- ドイツの童話作品、文化紹介、あるいは最近の医薬ニュース、ドイツの医療事情など、多角的な教材の学習を通して、総合的なドイツ語力をつける。
- 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を役立てられるような語学力を養う。
【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■ 学習到達目標 (各クラス共通)

1. ドイツ語の発音に習熟し、テキストを音読できる。(知識、技能)
2. 基本的な語彙と構文を用いて、ドイツ語での平易な文章表現ができる。(知識、技能)
3. 基本文法の知識を定着させ、比較的に長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。(知識、技能)

■ 授業内容

A 組 吉羽 里恵(非常勤講師)

1 年次に学習した内容を確認しながらステップアップしていきます。ドイツ語の文法・語彙・表現の応用的な学習の成果を、読解・会話・作文などの具体的な運用に実践していくことを目指します。教科書の各課にはドイツ語圏の様々なトピックが紹介されています。テキストの精読やテーマ考察を通じて、同時に異文化理解も深めていきましょう。

[No.1] 講義ガイダンス、会話演習 (ドイツ語で自己紹介)

[No.2～3] 第 0 課 既習事項の復習 (発音規則・会話表現)、会話演習

[No.4～6] 第 1 課 "Gesundheit" : ドイツ語の人称システムと動詞の人称変化、語順、疑問詞

[No.7～9] 第 2 課 Nestlé : 重要動詞 sein, haben, werden、否定文、名詞の文法性と格変化

[No.10～12] 第 3 課 Pflegeroboter : 不規則変化動詞、名詞の複数形

[No.13～14] 第 4 課 (1) Kartoffeln : 定冠詞類

[No.15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習) : 予習 : 文法事項を 1 年次の教科書で予め確認する。分からない単語を辞書で調べる (30 分) / 復習 : 宿題に取り組む。新しく学んだ事柄を整理する (30 分以上)

授業形態 : グループワーク、双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法 : 【フィードバック】授業や試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。【成績評価方法】期末試験 (80 %) と課題・小テスト (授業内容に十分に参加できなかった場合は減点の対象となる。無断欠席・遅刻も含む。) (20 %) で総合評価する。

教科書 : 『身近なドイツ語 - 話したくなる 10 のトピック -』 木戸紗織著 (朝日出版社) 2020 年

ISBN : 978-4-255-25428-9

参考書 : 独和辞典 (電子辞書可)、1 年次で使用した教科書

その他 : 履修者は、既に「ドイツ語基礎」(1 単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合があります。

B 組 未定

1 年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。教科書は各課ごとにドイツ人の生活をテーマにしています。文法の復習をしながら、会話の練習と新たな文法知識を積み重ねていき、各テーマについて考察します。

準備学習 (予習・復習) : 分からない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

[No.1] オリエンテーション・復習

[No.2～4] 第 1 課 : ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.5～7] 第 2 課 : ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.8～10] 第 3 課 : ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.11～12] 第 4 課 : ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.13～14] 第 5 課 : ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習) : 分からない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

予習：辞書を引いてわからない単語を調べる(30分)／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。(30分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。

成績評価方法：期末試験(80%)、課題提出(20%)で総合評価する。

教科書：未定

参考書：未定

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。

C 組 相馬 大樹(非常勤講師)

1年次に習った文法事項を復習しつつ、簡単な日常会話の表現も確認します。折に触れて、簡単な会話文を音読したり、まとまった文章を読む練習も行う予定です。ドイツ語圏の文化や社会事情に目を向けるとともに、日本語や英語とも違うドイツ語の世界を体感してください。

[No.1.] ガイダンス、さまざまなあいさつ

[No.2.] 紹介(国籍、専攻名、年齢)

[No.3.] 「これはドイツ語でなんといいますか?」、持ち物に関わる単語

[No.4.] 食事、食べ物に関わる表現

[No.5.] 家族に関わる表現

[No.6.] 趣味に関わる表現

[No.7.] ファッションに関わる表現、色

[No.8.] 道案内(前置詞)と時間の表現

[No.9.] 「休み中になにをする?」(未来形、話法の助動詞、zu 不定詞句)

[No.10.] 体調に関わる表現(再帰代名詞、再帰動詞、従属の接続詞)

[No.11.] 「日曜日は何をしたの?」(過去形、現在完了形)

[No.12.] 天気に関わる表現(非人称構文、形容詞の格変化と比較級)

[No.13.] 形容詞の変化

[No.14.] 関係文

[No.15.] まとめ

準備学習(予習・復習)：予習：テキストの新しい単語をチェックし、1年次の教科書で文法事項に目を通しておく。(30分)／復習：新しく学んだ構文や表現を整理して覚える。(30分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や課題、小テストに関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】期末試験(80%)、出席(20%)で総合評価する。

教科書：谷澤優子ほか著『クラッセ! ノイ 初級ドイツ語総合読本』白水社、2018年

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典(電子辞書可)

その他：履修者は、すでに「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。

S 組 三枝 桂子(非常勤講師)

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。会話表現を中心に「話す・聞く・読む・書く」能力を高め、実際に活用できるドイツ語を身に付けることを目指します。同時に、ドイツ語圏の文化や歴史についても学びますので、日本とドイツの違いを知ることから、異文化理解を深めていきましょう。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など)／第0課：ドイツ語の発音

[No.3~4] 第1課：規則動詞の現在人称変化(単数)、du と Sie の使い分け、語順

[No.5~6] 第2課：規則動詞の現在人称変化(複数)、動詞 sein、100 までの数字

[No.7~8] 第3課：名詞の性、定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格、複数形

[No.9~10] 第4課：動詞 haben、助動詞 möchte、定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の4格

[No.11~12] 第5課：所有冠詞・定冠詞類・人称代名詞の1格・4格

[No.13~14] 第6課：語幹変化動詞、命令形

[No.13~14] 第7課：3格、3格支配の前置詞

[No.15] これまでの復習

準備学習(予習・復習)：予習：分からない単語を辞書などで調べる(30分)／復習：新しく学んだ単語や表現を整理し、音声を聞きながら発音の練習を行う(30分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。

【成績評価方法】期末試験(80%)と課題、小テスト、発言(20%)で総合評価する。

教科書：『Klasse! neu (クラッセ! ノイ)初級ドイツ語総合読本』谷澤優子ほか著(白水社) 2018年

ISBN 978-4-560-06421-4

参考書：独和辞典(電子辞書、アプリケーション可)

その他：履修者は、すでに「ドイツ語基礎」(1 単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。